

# おおがわら

議会だより



第162号

令和4年2月1日

QRコードから議会の情報をご覧ください

大河原町議会



## クリスマス発表会

令和3年12月18日

(第一光の子保育園)

議案審議(10月・11月・12月)・・・②③

小学生の議会傍聴……………④⑤

町政への提言……………⑥

委員会活動……………⑱

町民の声……………⑲

# 12月会議

## 可決

### 子育て世帯への給付・農業対策など

同意1件 議案9件 委員会発議1件

今回の議案では、子育て世帯への臨時特別給付金に関する一般会計の補正予算や、特別会計の補正予算。各条例の一部改正、固定資産評価審査委員会委員の選任が上程され、各議員審議を行った。

#### 一般会計補正予算

歳入歳出にそれぞれ11億4671万1千円を追加し、歳入歳出の総額115億2717万5千円とした。

※12月9日会議開催時の可決内容。

子育て世帯への臨時特別給付金支援事業補助金(先行給付金) 1億9800万円

高校3年生までのお子さん1人あたり5万円を給付する。令和3年11月30日までに出生届提出の、約3200人に対して同年12月24日に支給。それ以外の児童数約760人に対して申請後、順次支給する。

※12月21日に、12月第2回会議を開催。  
子育て世帯への臨時特別給付金(追加給付金) 1億9800万円

「先行給付」分と合わせて10万円を一括で令和3年12月中に給付する。  
子育て世帯への臨時特別給付金(特例給付分) 600万円

大河原町は所得制限を設けずとし、所得制限で国庫補助対象外の方に、町単独のお金で見込み約60人に給付する。

## 全員協議会

### 新型コロナウイルスワクチン接種状況と追加接種(3回目接種)

12月1日の全員協議会では、町各課より9件の「説明・報告事項」と、議員が出向している一部事務組合議会等報告3件があった。その中から関心度が高いと思われる3件について掲載する。

●町内全体(対象者12歳以上の住民2万1209人)  
1回目 84・9% 2回目 73・6%

●65歳以上の接種率(対象者6557人)  
1回目 94・1% 2回目 93・2%

●12歳から64歳までの接種率(対象者1万4652人)  
1回目 80・2% 2回目 64・5%

●追加接種(3回目接種) 町が随時「接種券関係書類」を発送  
対象は2回目の接種を終えた18歳以上の方。

接種場所は、個別接種・集団接種(大河原町保健センター)とし、令和4年9月30日までの接種終了時期を見込む。

世代交流いきいきプラザ貸館事業について  
げんきサロンが令和4年1月11日より貸館が再開される。また使用時間帯の変更を行う。

「放課後児童クラブ」を応募人数が多いことから、令和4年度より1クラス増やす。

「二学期制」への移行について  
大河原町内小・中学校5校は令和4年度から、教育課題を解消し児童生徒の教育活動の充実することを目的に「二学期制」を採用。

●第1学期 4月1日から10月の第2月曜日まで  
●第2学期 10月の第2月曜日の翌日から翌年3月31日まで



ふるさと寄附金関連手数料

大河原町に対する、ふるさと寄附金が年度末にかけて更に増額し10億円を超す見込みとなった。それに伴い委託手数料を増額した。業務委託手数料は、ふるさと寄附金の50%以内となっており、内30%を返礼品に充てると規定されている。

債務負担行為の追加2件と変更1件、廃止1件  
総額7億4957万6千円  
(全会一致可決)

#### 特別会計補正

後期高齢者医療特別会計 ▲41万5千円  
国民健康保険特別会計 2020万円  
公共下水道事業会計 200万円

#### 同意

固定資産評価審査委員会委員の選任  
(全会一致可決)

#### 条例改正

国民健康保険条例の一部改正  
出生育児一時金給付額の増額。  
町営住宅条例の一部改正  
民法改正による用語の整理及び「上谷2階建住宅」の削除。

非常勤消防団員の定員、任免、報酬、職務等に関する条例の一部改正  
出勤報酬の増額と支給額の追加。  
(全会一致で可決)

#### 委員会発議

大河原町議会委員会条例の一部改正  
総務省より「地方公共団体における書面規制、押印、対面規制の見直し」が示されたことにより、本町議会においても手続きの簡素化及び事務効率化を図るため、これまでの「署名または押印記名しななければならない」の部分を「署名」のみに改定。  
(全会一致で可決)

## 11月会議



今回の議案では、新型コロナウイルスワクチン接種に係る一般会計の補正予算が主となった。また、白石川右岸河川敷整備工事に関する工事請負契約が上程された。

#### 工事請負契約

白石川右岸盛土部整備工事 5940万円  
障がい者用駐車場2台分含む駐車場34台を整備。その他、水飲み場・トイレ・ベンチ・イス・サイクルラック・照明等を設置。  
施工期間：令和4年3月22日まで。

#### 一般会計補正予算

保健衛生費 1365万円  
新型コロナウイルスワクチン集団接種会場での1回目、2回目接種完了に伴う職員人件費の他、3回目接種の準備に関する補正増額。  
(全会一致で可決)

## 10月会議

#### 一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対策費 218万5千円  
抗原簡易検査キット10回分入りを、町内福祉施設や児童施設50カ

8月31日から9月22日までに執行された発注工事3件の行政報告のほか、新型コロナウイルス感染症対策に関する一般会計の補正予算が上程され、協議を行った。

#### (第3期延長分)

9090万円  
新型コロナウイルス感染症拡大影響中小企業者支援給付金 4960万円  
(いずれも全会一致で可決)

# 小学6年生 初めての議会傍聴



12月7日、8日の2日間、授業の一環として町内の小学6年生全員が、議場内で一般質問を傍聴しました。  
感想を寄せていただきましたので、一部を紹介します。



## 大河原小学校

課題に対して、とともしんげんに話し合っていて、自分の考えや思いもまぜながら、会議をしていた。

他の意見の人や、質問する人の話を、しっかり尊重していた。

とてもきんちょう感がある会議で、町のことをしっかり考えているんだなと思いました。

「防犯カメラもよいけれど、人の目があった方がよいから、見守り隊を置いた方がよい」という意見に納得できた。

## 大河原小学校

町議会を見学しての感想は、みんなまわりをきよきよしないで手をあげてから発言しているのがすごいなと思いました。

そして、みんな集中して聞いていて誰も笑ったり話したりしないで、すごいなと思いました。いろいろな人が発言したり、手をあげてから発言するのが、むずかしいなと思いました。そして相手の目をみて話しているのがすごいと思いました。

## 大河原南小学校

議会に招待していただきありがとうございます。

議会では休けいとき以外は、無だ話をしないということが分かりました。私たちも見習って授業中無だ話をしないようにしたいと思います。

## 金ヶ瀬小学校

身近なことが話されていたので、分かりやすかったです。

自分達のことを決めているので、とても興味がありました。

発言するときに、手を挙げて言っていた。

## 大河原南小学校

とても大事な話をしていると思ったので、私も少し緊張しました。

内容ごとに話している人がかわっていることがわかりました。たくさんてい案などを出して、いろんなことをたくさん調べたりしてるのかなと思いました。質問ごとにくわしくせつ明していて、それについて、どう思っているかなどをくわしく話していて、すごいとおもいました。会議の時間は、はかっていたので時間も決まっていたことがわかりました。

## 金ヶ瀬小学校

なんかもっとビリビリした空気だと思ったのですが、とてもスムーズに話し合いが進んでおり、こんな感じなんだな—と思いました。

あとしっかり町民のことを思っているんだな—と思いこれからも安心して、生活できると今日、改めて感じました。

## みんなの疑問 Q&A

**Q** 質問されてなぜすぐに答えられるの？

**A** 実は、議会の開催される数日前に、このような質問をしますという内容の一般質問通告書を執行部に提出しています。これに沿って、事前に回答を準備して議会に臨みます。

**Q** 議長はどの様に決められているのですか？

**A** 町議会議員選挙が基本的に4年に1回行われます。選挙後の最初の議会で議員による選挙を行います。投票で決めています。



# 町政への提言 Q & A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すもの。今回11人の議員が行った。

- 高橋 芳男 ..... P7
  - 小中学校の全教室に加湿器の設置を
  - 子宮頸がん予防ワクチンについて
  - 検診等へのナッジ理論の活用について
- 佐藤 暁史 ..... P8
  - 通学路の安全対策などについて
  - マイナンバーカードの利用法などについて
- 大沼 忠弘 ..... P9
  - 生涯スポーツ、生涯学習環境整備について
  - 消防団員の処遇改善等について
  - ※10月31日施行選挙投票所について
- 丸山 勝利 ..... P10
  - 今後の農業について
- 万波 孝子 ..... P11
  - 米価下落、米生産者を守る施策を
  - 原油価格高騰に助成を
  - 「家族介護用品支給事業」について
- 高橋 豊 ..... P12
  - 通学路の安全対策について
  - ゴミのポイ捨て、不法投棄について
- 秋山 昇 ..... P13
  - 不登校児童生徒に寄り添う環境整備について
  - 子供の発育や健康状態について
- 須藤 慎 ..... P14
  - 新型コロナウイルス感染症に関わる取り組みとインフルエンザ予防接種の助成について
- 山崎 剛 ..... P15
  - 教育施設の防犯確認
  - 米価下落対策・対応について
- 中村 淳 ..... P16
  - 大河原駅を拠点とするレンタサイクルの導入は、どの様になったか
- 大沼 常次 ..... P17
  - 各種団体への補助金、委託料事業の透明性の確保と行政評価システム実施について

※は、誌面の都合により掲載できなかった質問。  
 アクリル板を設置しているため、表情が見えにくい場合があります。  
 内容は、大河原町議会ホームページ内の「インターネット議会配信」で視聴できます。(https://ogawara-town.stream.jfit.co.jp/) 各一般質問の録画は、QRコードからご覧いただけます。



## 全教室に加湿器の設置を

### 既に全教室へ設置済み



新型コロナウイルス予防に対しても一定の効果がある

**高橋** 建物内は気密性が高く、エアコンの使用によって空気が乾燥する傾向がある。冬季は乾燥により喉の粘膜の防護機能が低下するため、加湿によつ

て室内湿度を50から60%に保つことが大事だとされている。新型コロナウイルスの感染予防に関しても、室内の加湿や換気が一定の効果があることが、スー

パーコンピュータ「富岳」によるシミュレーションでわかっている。町内各小中学校へ加湿器の導入を進めるべきでないか。

**教育長** 昨年度、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、小学校3校計32台、中学校2校計8台を更新および追加配置し、町内全小・中学校で合計140台となり、現在すべての教室に配置できている状況。

### 子宮頸がん予防ワクチン

**高橋** 14歳以下の小児と、15歳から39歳の若者青年を指す「AYA世代」の、病気の死亡原因のトップはがんによるもので、子宮頸がん予防ワクチンである「HPVワクチン」は、現在WHO(世界保健機構)等が安全宣言とともに、特にAYA世代に向けた接種の推奨をしてくべきと思うがどうか。

**町長** 基本的には、令和4年から子宮頸がん予防ワクチンの個別接種を順次再開するように国から通知を受けており、広報紙やホームページ等で情報提供に努めていく。

### 検診等へのナッジ理論の活用を

**高橋** ナッジ理論とは、個人の選択の自由は残しつつ、ちょっとした伝え方で賢い選択を促す手法である。東京都八王子市では、大腸がん検診でナッジ理論を用いたモデル事業で、7%以上受診率が上がった事例がある。本町でもナッジ理論を導入していくべきだと思うがどうか。

**町長** 本町では、がん検診やワクチン接種などでナッジ理論を用いた取り組みを進めている。今後も引き続きナッジ理論を用いた取り組みを進めていく。

町内小中学校



高橋 芳男

# 総合型開始予定時期は

## 令和4年度中に向け準備



大沼 忠弘

**大沼** 平成28年9月定例会で総合型設立の主体はどこが担うのがふさわしいか、の問いに対しての回答は行政主導支援型であったが、その方向性には変わりないか。

**教育長** 設立や運営に関し、町民から支援を行い、町民の

**大沼** 県では令和4年度までに全市町村へ総合型設置を目指しているが間に合うのか、具体的な計画によ

**大沼** 障がい者スポーツの環境整備は、



総合型未設立市町村は残りわずか

る開始時期は決めているか。

**教育長** 具体的計画は未策定だが、設立委員会の設置に合わせ令和4年度中に開始すべく準備を進めている。

**大沼** 総合型設立にはクラブマネジャーの配置が必須と考える、どのような体制で進めているのか。

**教育長** NPO法人では今年度内に総合型担当者として職員1名を採用。資格取得後クラブマネジャーとして業務を行う予定と伺っている。

### 消防団員の処遇改善等

**大沼** 総務省より各市町村に「報酬額等の基準」を踏まえた処遇の見直しを速やかに行うことの通達に対しての本町の対応は、

**町長** 年額報酬を基準額の3万6500円に引き上げ、災害出動の手当てについて

**町長** 本町の操法については、消防団員としての基本的動作の習得を目的とし、混乱しがちな現場において正確な操作と、命令系統を順守した行動につながるものと捉えている。今後についても継続していくべきものと考えている。

**大沼** 今後も消防演習でポンプ操法を続けるのか。

**町長** 本町の操法については、消防団員としての基本的動作の習得を目的とし、混乱しがちな現場において正確な操作と、命令系統を順守した行動につながるものと捉えている。今後についても継続していくべきものと考えている。

見直しを行った。

**大沼** 水害対策が重点ではないか。水防等への装備品の充実を図るべき。

**町長** 今後、具体的な水防訓練の実施を検討。目的と効果を検証したうえで水防対策資機材の拡充を図り、水防対策強化に努める。

# 一般質問

## 通学路整備

### 信号待ちの子どもを守れ

#### 新南に防護柵を設置予定



佐藤 暁史

**佐藤** 通学路の危険箇所は何箇所あるのか。

**教育長** 危険箇所は62カ所あり、優先すべきところは対策を進めている。

**佐藤** 子ども達は通学路のことをどこに相談すればいいのか。

**教育長** 直接学校の先生や、PTAのお母さんに相談してほしい。子ども達の意見が反映されるようにアンケートを取ってはどうか。

**教育長** 今後、児童生徒からの意見収集の在り方を検討する。

**歩車分離式信号機**

**佐藤** 子ども達から赤信号でも進む車がいると指摘された。運転手が認識できていないのではないのか。

**町長** 歩車分離式の仕組みを周知し、運転手に対して明確化を図る。

**佐藤** 歩車分離の表示に「さくらつき」を使っているのか。

**総務課長** 看板を大きくするよう警察署で検討している。

**佐藤** 免許更新時に、自転車の乗り方を指導できないのか。

**総務課長** 交通安全の対策に話をしていく。

**佐藤** 低学年の子ども時間が短いのではないのか。

**総務課長** 青信号の灯火時間間を延長した。今後必要とする。

**佐藤** 信号待ちの子ども達に車が突っ込む可能性がある。子ども達を守る対策はないか。

**教育長** ポールコーンの設置、注意喚起看板の設置を検討する。

**佐藤** 新南は通学する子どもの数が多い。交差点に防護柵を設置できないのか。

**地域整備課長** 斜め横断を防止する防護柵を設置する予定。防犯カメラは今後設置するの。



登下校時の子ども達を守れ

**佐藤** 証明書のコンビニ交付を推進していく考えはあるか。

**町長** 住民の利便性の向上が図られることから、実施に向けて進めている。

**町長** SDGsの世界的な取り組みに繋がっている。改めて認識して対応していきたい。

**佐藤** 高齢者や独り暮らしの方にも必要なこと。町長が仰る「誰一人取り残されない町」に繋がると思うがどう考えるのか。

**教育長** 大河原警察署と協議し検討していく。

**佐藤** 子ども達の下校時に見守りを強化できないのか。

**総務課長** ながら見守り隊の研修時に、その話をしていく。

給付金も受け取れるのか。

**町民生活課長** 国ではそのような形で拡張されていく。

**佐藤** 高齢者や独り暮らしの方にも必要なこと。町長が仰る「誰一人取り残されない町」に繋がると思うがどう考えるのか。

**町長** SDGsの世界的な取り組みに繋がっている。改めて認識して対応していきたい。

# 一般質問

## 農業の今後

### イノシシの専従職員を

### 様々な想定で対策を取る



丸山 勝利



では対策を打っているが、近寄らせないのが重要である。養豚業者周辺を集中的に、経口ワクチンの散布や駆除など対策をするべきではないか。

**農政** 経口ワクチンの散布を県に要請していく。また、駆除隊などと養豚業者周辺の駆除を集中して行いたい。

**丸山** 農地の荒廃を防ぐには、農地の基盤整備を早急に進めなければならない。各地区で準備が進められているが、地区で進み

方に差がある。また、地区の合意形成では、地区外の地権者の合意がネックとなっている。町主導で出来ないか。

**農政** 金ヶ瀬西地区が、令和6年度の国による事業採択に向けて事業を推進している。今後、合意形成が図られた地域から地域整備構想策定支援のワークショップを開催し、ほ場整備推進委員会の設立に取り組みたい。地区外の地権者については、町が主導して合意形成を図りたい。

本町の農業については何年度も一般質問してきたが、農業を取り巻く環境は年々、日々厳しさが増し、継続が困難な状況になる農家も少なくない。米価の更なる値下げが続き、兼業しても、他の収入を農業の経費にあてざるを得ない状況にある。農地を預けて耕作を委託している農家も多くあるが、米価の下落や、経費の高騰などにより、耕作地の返還などが聞かれるようになって

た。適正な管理が難しくなる農地も増えると思われる。また、農作物を荒らす害獣被害も深刻化を増しており、特にイノシシ被害は年々増えており、対策に経費がかかるうえ被害による減収と、米価の下落と、農家を取り巻く環境は非常に厳しくなっている。

**丸山** イノシシの被害状況の把握はどのように行っているか。被害農家からの通報及び宮城県

農業共済組合からの情報提供により把握している。

**丸山** イノシシが市街地や住宅地に出没した場合の通報は農政課でよいのか。また、周知はしているか。

**町長** 通報先は、市町村及び警察署となっている。本庁は「農政課」となっている。今後おしらせばんやホームページなどで周知したい。

**丸山** 異にかかったイノシシの止めさ

しと処分が非常に大変である。専従の任用職員などで対応出来ないか。

**丸山** イノシシの止めさは、主に銃器と電気ショックで行われるが、有資格者が行う必要があるので職員での対応は出来ないものと考えているが、今後、様々な想定の中で対策を立てていく。

**町長** 家畜伝染病の豚熱が、近隣市町や本町でも確認されている。町内の養豚業者



速やかな対応を

## 米生産者に支援を

### 米価下落

### 10a4,000円補助



米づくりがいつまでも続くように

J Aなどが米生産者に支払う概算金は大幅に下落し、米生産者は深刻な状況に追い込まれている。10年前1俵60Kは2万円だったのに、2021年産米「ササニシキ」は9600

円、「ひとめぼれ」は9500円に下落。これでは米作りが極めて困難になることから対策が求められている。

**万波** 早急な支援策をすべきでないか。

本町を含む2市6町で一致して農業者に10アール当たり4000円の補助を決めた。今回の12月議会に計上した。

**万波** 社会福祉協議会と連携し、生活困窮者に米を届ける支援を。

**町長** 連携を取りながら、何を支援策として立てたらいいか今後検討していく。

**万波** 学校でも生産者の顔が見える授業を通して「お米大好きな子」の育成につなげる考えは。

**町長** 米飯給食週4日実施しているが、生産者から直接話を聞く学習を再開する。



万波 孝子



米価下落対策と同様に仙南が統一して対応できないかと考えている。

**町長** 米価下落対策と同様に仙南が統一して対応できないかと考えている。

以前、万波議員から指摘を受け、所得制限の撤廃に取り組み受給者も増えた。要件に沿った適正人数と判断している。

**万波** この制度を知らないでいる家族によく出会う。広報に加え、家族と関わるケアマネージャーやヘルパーに更なる周知徹底をすべきでないか。

**町長** 介護している家族や介護事業所に対し、一層の周知に努める。

# 一般質問

## 通学路安全対策

### 危険箇所対策は

### 危険度の高さ考慮し対応



高橋 豊



**高橋** 不法投棄が発見された時の対応と罰則は。

**町長** 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、私有地内で発見され不法投棄者が特定出来ない場合、土地の所有者が撤去処分。同様にごみ集積所や公有地は町で回収し処分している。

**高橋** 不法投棄が多い所へのカメラの設置は。

**町長** 「大河原町環境の美化の促進に関する条例」があるので、新たな条例の制定は考えていない。

**町民生活課長** 不法投棄、ごみのポイ捨てが多い所はカメラの設置を検討する。

**高橋** 他の自治体ではゴミのポイ捨て禁止条例を策定し罰則の強化を図っている所もある。本町でも対策の強化が必要と考えるかどうか。

6月28日、千葉県八街市において、下校途中の小学生の列に、トラックが突っ込み、児童5人が死傷する痛ましい事故が発生した。このような悲惨な事故を二度と起こさないために。国や県、教育委員会、学校、地域とさらなる連携を強め、学校周辺や通学路の徹底した安全対策に取り組むよう、会派「がわら」の会として、7月

9日「通学路の早急な安全対策を求める要望書」を町長、教育長あてに提出した。

要望事項の内容についての取り組み、経過報告、対策について伺う。

**高橋** 通学路の点検と改善に取り組んでいるのか。

**教育長** 国や県、町の関係団体が構成する「大河原町通学路安全対策推進会議」において危険箇所の把握と対策内容を共有。関係機関、関係課と連携し危険度の高さや対応可能性などを考慮しながら、順に改善を実施している。

子どもたちへの安全教育を徹底しているか。

**高橋** 小中学校では道路の歩き方や自転車、乗車方等交通安全への啓発活動を強化している。

人が出入りしない人目につかない山林等には、粗大ごみに類するゴミ等の不法投棄が見受けられ、道路沿いには明らかに乗用車から捨てられたと思われるペットボトルや空き缶、弁当の空き箱等が散乱して放置されている箇所もある。本町の対応について伺う。



通学路の安全確保のため、見守り隊の役割は大きい

## 心に寄り添った対応



大小に設けられた心の居場所

**秋山** 本町の不登校の現状は。

**教育長** ケアハウスや養護教諭等の支援を受けている児童生徒は若干名存在する。児童生徒の悩みを聞いた

り、担任の先生から与えられた課題等、学習の支援を行ったりしている。これまでも、保健室登校から徐々に教室に入れるようになった児童生徒もいる。

**秋山** 不登校を生まない取り組みが重要と考えるが、どのように対応しているか。

**教育長** 児童生徒にとって魅力のある学校づくり、楽しく、行きたくなる学校づくりを推進しながら、自己有用感や自己肯定感を高めるようにしていくことが大切であり、その中で最も重要なことは、児童生徒の実態に応じた分ける授業づくりであると考え。大・小・大中ではスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを交えた定期的な教育相談部会を実施し、不

## 不登校児童生徒

## 学校の対応は



秋山 昇



登校をはじめ、気になる児童生徒の情報交換や個々の対応のあり方について協議している。

**子どもの発育や健康状態は**

**秋山** 肥満・痩せすぎ及び裸眼視の調査を行っているのか。

**教育長** 肥満度については県が健康課題統計調査を毎年実施している。本町の児童生徒については、令和2年度は身長、体重ともに、ほとんどの学年で全国平均を上回り高い傾向にある。視力については、大小は1・0未満の児童の割合は令和3年度が43%となり、全国平均を上回っている。大中では令和3年度が58%となり、全国平均と同程度の状況にある。

**秋山** 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生活習慣の変化によるものか。

**教育長** 令和2年3月2日から約3か月間、学校は臨時休業を余儀なくされたが、現在では体力の低下の改善は図られているものの、生活習慣の乱れについては引きずっている児童生徒もわずかならいる。

**秋山** 肥満児童に対する学校での取り組みは。

**教育長** 養護教諭が中心となり、保護者に専門医の受診を勧めているほか、大小では仙台大学との連携事業により、年間50回、仙台大学の教員や学生の指導のもと、遊びを取り入れた運動を行い、体力・運動能力の向上を図っている。金小・南小でもマラソンに取り組むなど心身を鍛えている。

# 一般質問

## 季節性インフルエンザ

### 予防接種に助成せよ

### 来年度以降で検討



須藤 慎



大河原町（以下…本町）の定期接種対象者以外（0歳から64歳）の季節性インフルエンザ予防接種の助成については、令和2年度は、「重度障がい者・妊婦・中学校3年生が無料」、令和3年度は、「中学校3年生が無料」という状況である。宮城県で取りまとめた「季節性インフルエンザワクチン接種の助成状況（令和3年度）」によると、宮城県35市町村のうち、「0歳もしくは

1歳から助成している市町村は17市町ある。多くの市町村では国の「地方創生臨時交付金」を活用しているようである。

**須藤** インフルエンザの患者数が増加すること、新型コロナウイルスとの重複感染の重症化等も懸念されること、子育て世帯等の負担軽減の観点から国の交付金を活用してインフルエンザ予防接種に助成すべきと考える。

**町長** 当初、高齢者や中学3年生の他、重度障がい者や妊婦に對しても昨年同様、助成を行う方向で検討したが、今年はインフルエンザワクチン供給量が昨年と比べて減少する見込みであり、希望者に対して十分な接種体制が確保できない可能性があること、また、接種を行う医療機関から新型コロナウイルスワクチン接種を担っている中でインフルエンザ予防接種への対応

は負担が大きいとの意見をいただき、最終的に助成を見送る方向に至った経緯がある。10月からインフルエンザ予防接種を開始しており、既に接種を受けた方もいるため公平性を保つためにも例年同様、高齢者と受験を控える中学3年生への助成と考えている。

**須藤** 今後、助成について検討すべき。

**町長** 来年度以降どうか、仕切り直し、改め

て検討させていただきたい。

**LINE(ライン)公式アカウントを開設すべき**

現在、「ライン公式アカウント」を活用している自治体が増えてきている。その主な要因として、新型コロナウイルスの影響があること、災害などの緊急時にも住民へ素早くリアルタイムに確実に情報を伝えることができること、生活に関わる身近な情報も配信可能であることなどがある。本町においては、メール配信サービス等を行っているが、ラインのほうがメールより見落としにくい、また多くの方がラインを使っているという状況にある。

**須藤** 住民への情報発信手段がより一層広がること、住民サービスの向上にもつながることから「ライン公式アカウント」を開

美里町 The Official Website Of Misato Town

トップ 防災情報 施設紹介 観光物産 入札契約 企業立地

インフルエンザ予防接種について

対象者	接種期間	接種料
0歳～1歳未満の子供	1月～2月	2,000円
1歳～12歳未満の子供	1月～2月	無料
13歳～19歳未満の青少年	1月～2月	無料

宮城県美里町は「1歳から中学3年生まで無料」

## 不審者対応訓練は

### 毎年各施設で実施



いざという時のために刺股(さすまた)使用の訓練を

**山崎** 本町の教育施設における不審者対応訓練及び研修は行っているか。

**町長** 町内の小・中学校、並びに幼稚園、保育所については、毎年、不審者対応の訓

練や防衛対策として刺股や机、椅子等を用いた対応の仕方等について共通理解を図り、いざというときの体制づくりに努めている。

**山崎** 町内の幼稚園、保育所の男性職

員、女性職員の人数と配置は。

**町長** 町内6施設全体で、男性職員は6名。女性職員は16名。男性職員がいない施設は2カ所、1名の施設が2カ所、2名の施設が2カ所となっている。

**山崎** 防犯カメラ、防犯用具、職員への危険管理マニュアルの再確認、不審者侵入時の合言葉等各教育施設で対策は行っているか。

**町長** 防犯カメラは全ての小・中学校、幼稚園、保育所に設置しており24時間の録画機能を用意モニターで確認できる。防犯用具は、小・中学校に刺股

を設置してある。各施設において現状を確認し、用具の充足に努めていく。危険管理マニュアルの再確認についても、不審者対策を全施設の職員の共通理解のもと、児童生徒の安全確保に向けた取り組みをさらに徹底していく。小学校においては、不審者発見等の異状があった場合には警報システムで非常ボタンを押すと特有の音楽と合言葉が放送で流れ児童生徒、教職員が行動できる体制づくりを構築している。

**山崎** 帽子やベストを着用しての施設外周警戒と防犯対策連絡協議会の設立は。

**町長** ながら見守り隊や防犯指導隊の協力を頂きながら警戒体制を整え、対策を行いたいと考えている。幼稚園、保育所の防犯対策や情報共有の連絡協議会の設立について

は、現状、各施設が集まる会議があり、そのほかにも情報共有の機会を設けていることから、防犯対策に関する連絡協議会設立の考えは持っていない。

**山崎** 米価下落に對する本町の支援策は。

**町長** 本町の基幹産業である米の時期作へ向けた緊急的な支援により、農業者が意欲をもって持続的に稲作経営に取り組めるよう、種子、肥料、農業等の一部支援として、令和4年度産米の主食用米を生産する農家に対し、耕作面積10アール当たり4,000円を補助することとし、補正予算を計上している。



山崎 剛



## 町内教育施設



# 一般質問



中村 淳



## レンタル自転車導入

### 広域連携で検討を

### にぎわい創出を模索

リズムなどの広域連携も視野にいれて施設活用での賑わい創出の一端として模索したい。

**中村** 先進地として仙台市や宇都宮市があるが、電動アシスト自転車での検討をおねがいしたい。仙台市では、既に完成したシステムとして民間に委託している。積極的に活用すべきと思う。体験してきたが、かなり好感触と感じた。残念ながら赤字運営らしい。それでも、脱カールなどの視点からや

る価値はある。

桜祭りの季節には、鉄道と電動アシスト自転車を活用して、大河原駅から船岡駅、そして、館山公園。また、大河原駅から白石駅、そして益岡公園。そんな光景を浮かべてみてはどうか。

**町長** 様々なイメージが浮かんできてありがたい提案。町でもこれまで検討してきたが、民間の力も借り、まちづくりにつなげて行く。



にぎわい創出に自転車の活用を

白石川右岸河川敷整備計画が進んでおり、クラウドファンディングなど新しい取組も進んでいる。

今後、サイクリングロードの利用状況を向上維持していくためにも、平成30年12月議会でのレンタル自転車についての提言が、その後どうなっているか伺う。

**中村** 大河原駅を拠点としたレンタルサイクル、貸し自転車の

立上げは、進んでいるか。

**町長** 事業実施に向け判断材料を集め、調査、研究を行った。町内周遊時の利便性、観光資源、健康増進、併せて、温室効果ガス排湿抑制効果も期待でき、活用に向けた機運はますます高まっているものと認識している。

**中村** レンタサイクル事業の想定と現状は。

**町長** 町内周遊の手段としてのシティサイクルを活用したJR大河原駅付近を発着点とする対応について模索してきたが、運営体制、施設等の拠点整備について、まだ状況が整っていないものと判断している。

**中村** 大河原町は、4km四方程度の小さな町であり、ほとんどが平坦であることから、自転車利用には適していると思う。

また、サイクリングロードを中心として、近接市町と連携して観光目的レンタルサイクル事業への拡大は視野にあるか伺う。

**町長** 現在仙南2市7町で構成する「みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議」において進めている。先進地事例の検証など調査し、白石川右岸の賑わい拠点施設の整備に合わせてレンタルサイクル、サイクルツ

# 補助金事業の評価は

## 内部検討で終わっている



町からシルバー人材センターには14,300,000円の補助金が出ている

今後、町の人口減少による生産人口減少や高齢化率の向上などによって、町税等の歳入減が懸念される。そのために行財政が健全な今からその準備

を行っていくことが大事である。その一つとして各種団体等への補助金及び役場では直接遂行できない業務を外部へ委託するための委託料について、その「公益性」「目的と必要性」「費用対効果」等の事業評価をしっかりと行つたうえで、可視化することが必要である。庁内だけの内部検討にとどまらず、公募された町民も含めた「審議会」的な組織の中で評価、審議する形が「協働のまちづくり」の姿ではないか。

**大沼** 補助金交付団体の数と行政評価の

実施の有無は。

**町長** 交付団体は56団体であり、当初予算のヒアリングで目的等を確認している。

**大沼** 過去5年間で補助金交付の縮減はあったか。

**町長** 交付件数の縮減はなかった。

**大沼** 補助金も事業としての「終期」を検討しなければいけないと思うが。

**企画財政課長** そのまま継続していきたい。

**大沼** 補助金の透明性と可視化の必要性の観点から補助金の内容が分かる資料を提出すべきでは。

**企画財政課長** 今後、成果説明書に記載し

たいと思う。

**大沼** 役場が実施している事務事業全般において、チェック表を用いた「行政評価」は実施しているか。

**企画財政課長** 長期総合計画を立案する際は、簡易的なチェック表を作成し活用している。

**大沼** 補助金について、人件費のみの場合と運営費全般に補助するものがあるが、この違いは何か。

**企画財政課長** 町社会福祉法人への補助対象は人件費、町シルバー人材センターへの補助は事業費全般が補助対象である。

**大沼** シルバー人材センターの運営費にかかる補助金の算出根拠はどのようになっているか。

**企画財政課長** 国の補助額に合わせた基準としている。

**委託料**

**大沼** 委託件数と委託契約方法は。

**町長** 委託件数は529件で規定に基づき契約をしている。

**大沼** 委託先が5年以上同じ事業者となっている件数は。

**町長** 149件である。

**大沼** 庁内の情報システム等の更新導入の契約状況はどのようになっているか。

**企画財政課長** 各課担当扱いになっている。

**副町長** 他の自治体では専門職員を配置しているところもある。町としても行政のデジタル化を推進していくためには、組織等の改編も視野に検討しなければならぬと考えている。



大沼 常次



# 委員会活動

総務産業常任委員会は10月22日、文教厚生常任委員会は10月12日にそれぞれ次の内容について調査及び審査を行った。

## 総務産業常任委員会

### コロナにおける町内事業者の動向調査

- 各業種とも新型コロナウイルス感染症の影響は根強いが、緩やかな回復傾向にある。
- アフターコロナ後も経営維持や雇用維持に対する支援は必要。
- 事業者支援給付の申請状況は示されたが、外食産業の疲弊による米余りから米価下落により、農業経営者からの申請も見込まれ支援が必要。

### さくら大橋道路(アンダーパス)調査



- 完成後、交通量の増加が見込まれ、県道の横断は危険となるためアンダーパス構想は不可欠と分かった。左岸の改善は今後の課題。
- さくら大橋への移動部分の構造は残すこととなった。

### 上大谷地区道路拡幅

- 再三話題に上がっており県に強く要望しているのに進捗状況の説明を受けた。(担当課)
- 拡幅工事については船岡水路の一部暗渠化盛土により、待避場所を作り、車のすれ違いを可能とする計画等を確認した。
- 令和3年度に2車線改良済み区間から大谷踏切までの拡幅工事が完了する。

- 残りの県に要望している区間に関しては、地域住民の長年の悲願であり今後も注目する。

## 文教厚生常任委員会

### 障害者相談員の復活に関する請願を審査

#### 執行部の意見

- 相談件数の報告は0件。
- 報告書を出す義務があるが、提出されていない。
- 少しでも報告があれば廃止しなかった。
- 町外の連携機関は県南生活サポートセンター「アサンテ」。仙南全体の相談件数は858件。(本町:31人・基幹相談支援センターへ相談(本町:26人))
- 障害者から相談員復活の声は町に届いていない。

#### 請願者の意見

- 様式に記入しなかったが、相談実績はあった。
- 相談と雑談は一緒。
- 協会の会員や知人にしか相談できない。
- 廃止にするやり方を丁寧にするべきだった。
- 世の中の流れに必要。

#### 各委員の意見

- 相談員は専門性が求められている。
- 高度で専門的な対応は白石陽光園内のアサンテが行っている。
- 角田市では、雑談を含め相談実績は69件ある。
- 元相談員が雑談を報告しなかったということからは、元相談の判断で相談をとり逃していたのではないか。

### 審査の結果

結論は出ず、今後とも継続して審査することになった。

## 3月議会のお知らせ

招集日 3月2日(水)  
再開日 3月8日(火)

詳細は議会事務局まで ☎(0224)53-2800

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「議会報告会」を中止します。

## インタビュー

# 町民の声

子育てや町に望むことをお聞きしました。

### ＊プロフィール＊

いづま  
**岩間かおりさん** (上町一區)  
村田町出身  
【家族】夫 子ども2人(1男1女)  
4人暮らし

## 何をすることも ちよつど良い町

職場は夫婦で仙台市にあります。職場の同僚たちに「大原は不便ではないか？」と聞かれることが多いですが、電車を使えば35分足らずで仙台へ行くことが出来ます。ちよつと車を走らせれば、山へも海へも行くことが出来ますし、新幹線の駅もすぐ近くにあるため遠方に出掛ける際も便利です。両親が住む町が近く安心であることや、何より仙台や名取で土地を購入して家を建てるより、安価で広い住宅が建てること出来ると考え、大原原町を選びました。我が家は自慢できるほど広くは無いですが、主人は庭で野菜を育てる楽しさを覚えましたし、天気の良い日は外で食

事をしたり、お酒を楽しんだり、喜びも見つけました。子どもたちはウィンタースポーツやキャンプを楽しむことが出来ますし、何より春の桜は本当に美しく気持ちの良い季節を毎年楽しみにしています。住み始めて15年近くになりますが、自然も豊かで便利な町の機能も身近にあつて、何をすることもちよつど良い！そんなところが好きです。

### 保育施設全体の充実を願う

マイホーム購入を考えると、一日の保育時間が長い施設を探しました。仙台へ通勤しているため通勤時間は1時間半ほどかかります。9時〜18時までの勤務だと7時30分前には出発して、帰りはどんなに頑張っても19時を過ぎてしまいます。

この環境で子供を預かってくれる先を探したときに見つけたのが大原原にある認可保育園でした。長男は3歳から、長女は0歳児から預かって頂き本当に助かりました。大雪の日には朝早くから駐車場に雪かきを保育士の先生方がしてくださって、親の私の通勤をも気遣ってくださった際には涙が出るほど感謝しました。長期に子供たちがお世話になった分、先生方の業務の大変さを多く見ることが出来たような気がします。

一般的に保育士の待遇や施設的环境はあまり良くないと聞きます。その反面、子育て世代には最も頼りたい存在です。病児保育や病後児保育を望むのは贅沢かも知れませんが、夜勤や交代制の仕事に就いている世帯が頼れるような夜間預かりや日

曜祝日保育施設があれば、働く先が見つからない方や働くことを躊躇されている方の背中を押すことも出来るかも知れません。私自身、過去に交代制で勤務していた際には、子供を預かってくれる先を探すのに悩み転職を考えただけです。この町の将来を担う子供の健全な育成と子育て世代の応援のためにも保育施設や保育士さんをはじめ勤務する方全体へ、町として援助して欲しいと感じています。



こんな町に住みたいな



大河原小学校  
我妻 秀泉さん

ぼくは、商店街に人が集まる町に住みたいと思います。

大河原町は、桜祭りなどのイベントの時はたくさんの方が集まりますが、何も無い時は人が集まりません。

そのために、若い人たちも行きたいと思う魅力的なお店を作る事が良いと思います。また、カーブなどを設置することで歩きやすくし、天気の良い日でも行ける商店街になればいいと思います。

大河原町の商店街が、活気があって人が集まる場所になればいいと思います。



大河原小学校  
小針 蒼夏さん

大河原町には、桜、白鳥、梅、そして人々の温かい心があります。ですが、町内でよく見られるのはたくさんのごみです。

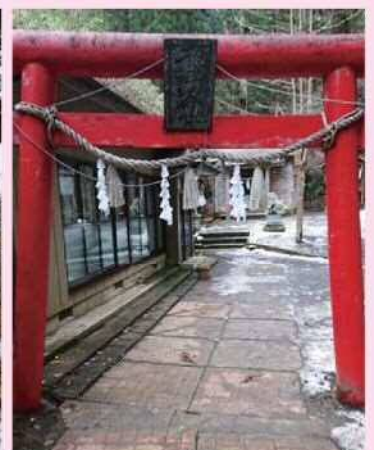
車道や歩道など、ごみがよく落ちていたことが多くあり、きれいな桜や川のすばらしい景色が台無しになっています。

私ができることとして、自らゴミ拾いをし、私だけでなく、町民の人たちが一体となって、少しでもごみを減らせれば、桜や川の美しさをより楽しむことができます。そして町の人たちの絆がより強くなると思っています。大河原町はとて素晴らしい所です。多くの人に来てもらえるよう、きれいで美しい町にしたいです。

街かどワシワシ



小山田不動尊



大谷不動尊

**東と西の不動尊**  
大河原町の東端に鎮座する大谷不動尊と、西端に鎮座する小山田不動尊。東の大谷不動尊は奉賛会で、西の小山田不動尊はお不動講でそれぞれ掃除や維持管理を行っており後世へと受け継いでおります。また、大谷不動尊では4月にお祭りも行っております。東と西から大河原町を見守る二つの不動尊。一度訪れてみてはいかがでしょうか。



今回の表紙は第一光の子保育園「クリスマス親子礼拝」です。この日は朝から雪の降る寒い日でした。厳かなキャンドルサービスタから始まり、ページェントで子ども達はキリストの生誕を演じていました。台本は聖書の内容に合わせて先生達を作っています。役や台詞は何度も話し合いをして準備をしてきたそうです。最初は恥ずかしさや緊張のあった子ども達でしたが、演じきった後の顔は自信に満ち溢れていました。子ども達の真剣な演技に心から感動した親子礼拝でした。  
(佐藤 暁史)

編集後記

コロナ禍の年末年始を迎え、今年こそは新型コロナウイルスの影響を受けない年になるように切に願うところです。議会改選後、新たな議会広報委員会が選任され、「議会だより」も三度目の発行となりました。新人議員も広報委員会にも慣れてきたことと思われれます。議会広報委員会では先輩議員が培った「議会だより」のノウハウと新人議員の新たな発想で、今後、町民にとって読みやすく、分かりやすい「議会だより」が発行できれば、と思います。今後の発行にご期待ください。  
丸山 勝利

- 編集発行責任者** 丸山 勝利  
**議長** 岡崎 隆  
**議会広報常任委員**  
**委員長** 万波 孝子  
**副委員長** 佐久間 克明  
**委員** 丸山 勝利  
大沼 常次  
中村 淳  
佐藤 暁史